



全国高校選抜大会優勝おめでとうございます!



全国高校選抜卓球大会が愛知県豊田市総合体育館を会場に開催され、女子シングルスにおいて利府高校3年生の高橋愛依さんが優勝という素晴らしい成績を収めました。4月6日(木)に町長へ優勝報告のため来庁した際に、インタビューをさせていただきました。

★優勝した時の気持ちは？

大会中は毎日緊張感を持ちながら、一戦一戦を大切に勝ちにいくという気持ちで試合に臨み、優勝はあまり意識していませんでした。実際に優勝が決まった時は、嬉しさと安心という思いが強かったです。

★今後の目標は？

直近の目標はインターハイに出場し、良い結果を残すことです。高校卒業後の進路はまだ決まっていますが、何をとするとしても、卓球を一生懸命に取り組み、結果を残してこれたことに自信を持ち、胸を張ってさまざまなことに取り組んでいきたいです。

★競技を続けている中で印象に残っていることは？

全国大会の県予選で小・中学生に負けたことがあり、悔しい思いをしたことが印象に残っています。そこで、気持ちを切り替えて負けた原因を考え、練習方法を工夫したことが今回の結果に結びついていると思っています。



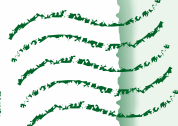
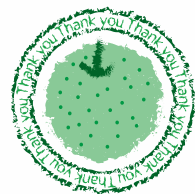
★町内の小中学生に対してのメッセージ

努力することは必ず成長に繋がり、頑張ってきたことも、最後には「楽しかった」という思い出に変わっていくと思うので、つらいと思ってもその努力を続けて欲しいです。



町長コラム ベア・パル

ラストワンマイル



座談会や町民会議といった広聴事業を広く推し進めています。町民の皆様より幅広いお話を聞かせていただいておりますが、大方意見の集約ができるほどになりました。二つです。

一つは公共交通機関の充実です。こちらは町主催にて、公共交通会議を開催し、有識者や関係団体、町民からの一般公募も含めて鋭意、町の公共交通について議論をしています。計画が具現化しておりますので、PDCAサイクルを回して、ますます改善していきたいと思っております。一方で、有識者や町では把握しきれない思いや、超高速で進む高齢化に伴う足の確保なども顕在化しています。

いつぞやの座談会で次のような意見ができました。ある方は「利府町は公共交通が不便だ。何とかしてほしい」とする他方で「いやこんなに便のいいところはない」と。認識の違いはいつの段階で町に暮らし始めたか、です。

また「ラストワンマイル」という言葉が目立ってきましたが、これは「最寄りの鉄道駅やバス停から、最終目的地である自宅までの区間」を指します。これも、特に高齢化しつつある日本で解決しなければならない課題の一つです。

公共交通というとバスや電車が思い浮かぶと思っております。

しかし、これだけ輸送手段が多様に広がる時代、すべての乗り物やサービスを含めて公共交通の枠内に収容してもいいのではないかと考えています。つまり自転車や自家用車や電動キックボードも公共交通。今後、住民の足の確保のために、大胆に実証実験などに取り組んでまいりたいと思っております。

また目的地へ行く用途を限定するというのも、住民の選択肢を狭めている要因だと思います。通勤、通学、観光、ショッピング、街歩き、他町からのバス、それぞれが自由に公共交通を利用できるようにするにはどのようにすればいいのか。往々にしてその障がいとなるのが、法律や制度です。この点に関しても、制度というのは誰を守るために、誰の利益のために存在しているのか細かく確認しながら乗り越えていきたいと思っております。ラストワンマイルに届くまではもう少し時間が必要だと思います。

ちなみにもう一つの町民会議の多数意見は「カラオケ屋を誘致してほしい」です。どちらが早く実現できるか。こちらも「ラストワンマイル」です。

ゆたか

利府町長 熊谷 大